

土砂災害対応状況に関する調査結果の概要

消防本部における土砂災害対応の実態調査として、運用体制整備状況、マニュアル整備状況、訓練等実施状況及び活動事例等についてアンケート調査を実施した。

アンケート調査項目

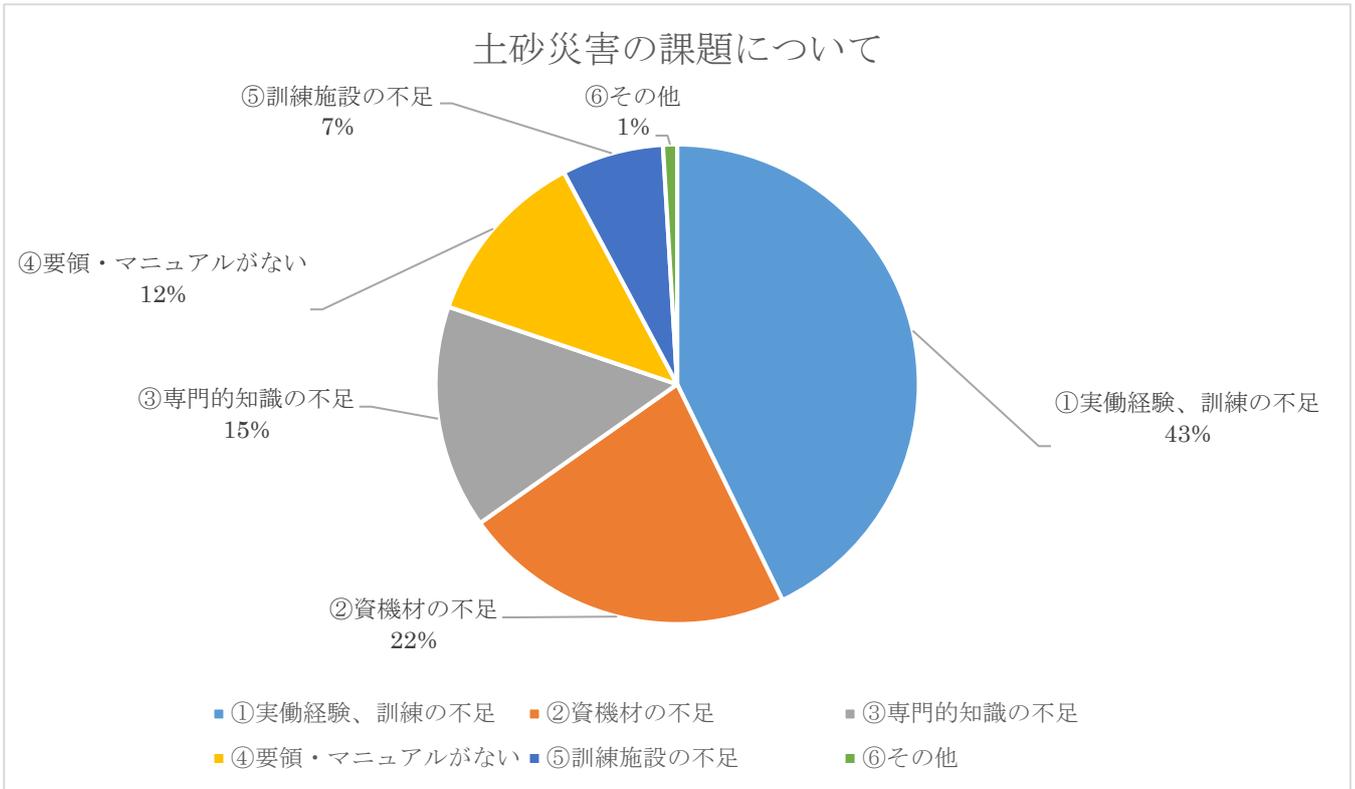
分類		項目
マニュアルの整備状況		土砂災害活動要領
		救出活動要領（トレンチ）
		救出活動要領（埋没）
		救出活動要領（その他）
		マニュアルの提供の可否
訓練実施状況	図上・座学訓練	内容・指導者選任状況
	救出訓練	内容・指導者選任状況
	外部機関による訓練等	外部機関名・コース名
	他消防本部の訓練等に参加	内容等
	その他訓練（重機による訓練等）	内容等
	土砂災害用訓練施設	市・消防本部で保有
		消防学校施設利用
		民間施設利用
土砂災害対応資機材		消防本部で標準資機材
		状況に応じて使用する資機材
		今後有効見込みのある資機材
土砂災害における意見		消防本部独自で工夫
		各消防本部の課題
		各消防本部の疑義等
事例		土砂災害対応における奏功事例（訓練含む）
		土砂災害におけるヒヤリハット事例（訓練含む）

アンケート調査集計概要

調査対象	全消防本部（726本部）
回収調査票（回収率）	該当消防本部（719本部 99%）

【課題】

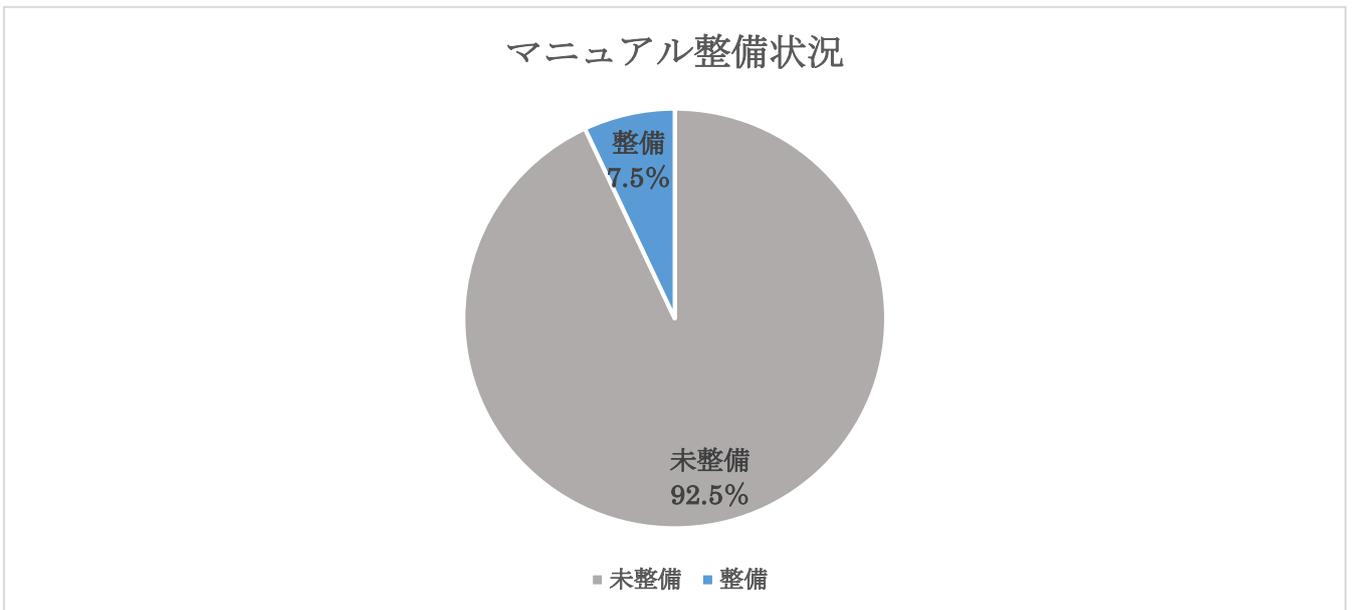
課題について、425件の回答となっており、「実働経験、訓練の不足」43%（182件）、「資機材の不足」22%（95件）、「専門的知識の不足」15%（64件）、「要領・マニュアルがない」12%（51件）、「訓練施設の不足」7%（29件）、「その他」1%（4件）となっている。



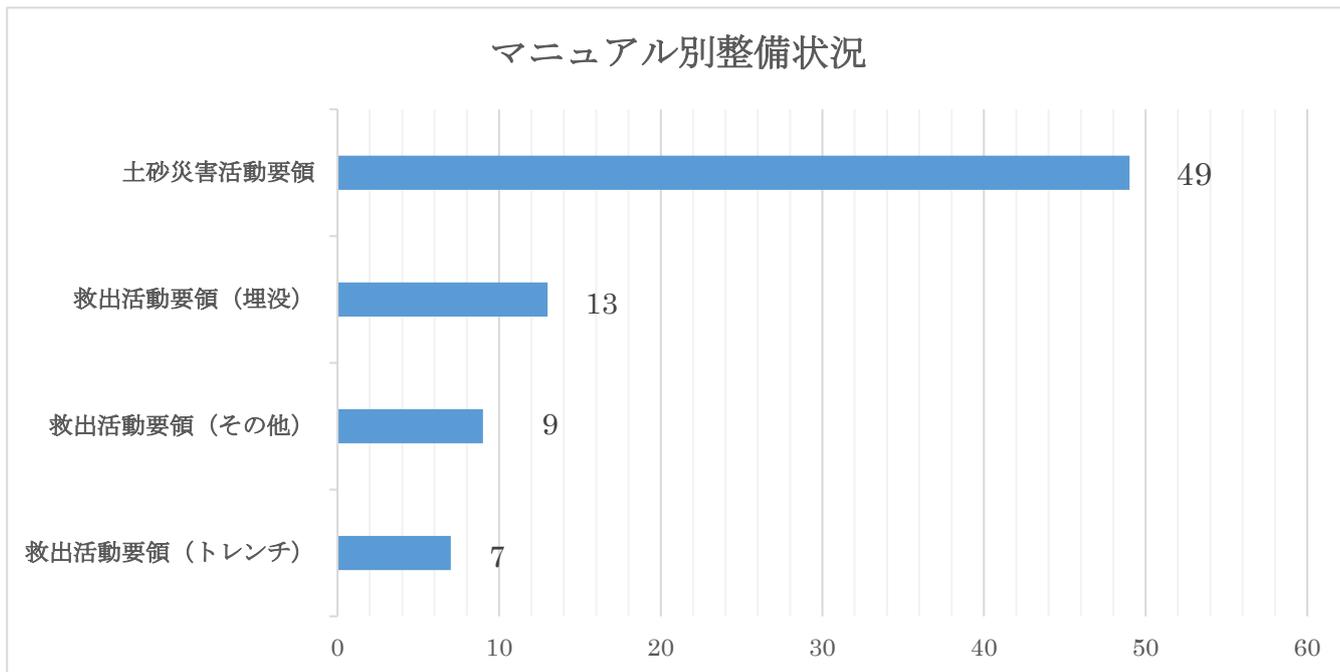
【マニュアルの整備状況】

・マニュアル整備状況

土砂災害活動要領または関連するマニュアルの整備状況は、92.5%（665本部）が未整備となっており、7.5%（54本部）が整備となっている。



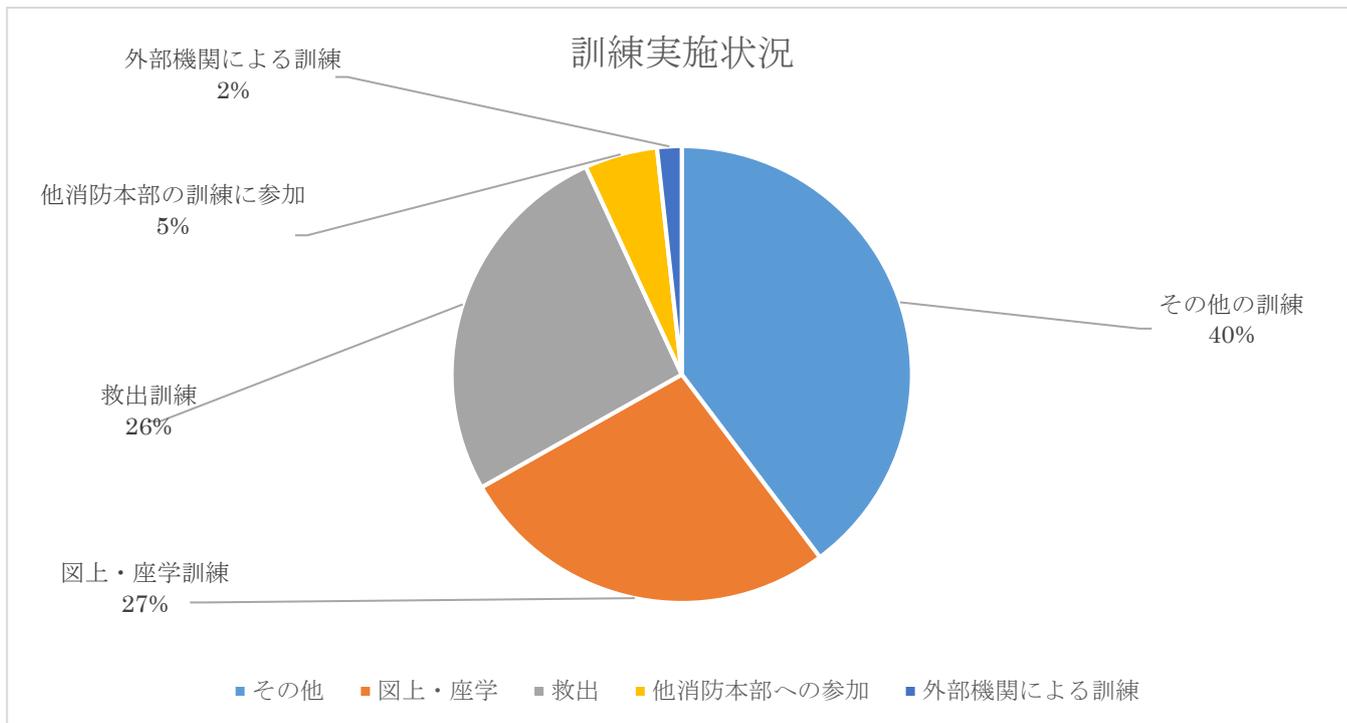
・マニュアル別整備状況



【訓練等実施状況】

・訓練等実施状況

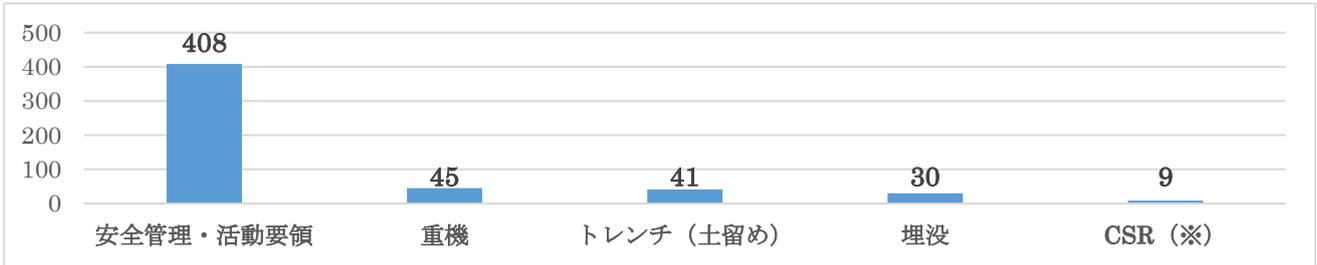
訓練等実施状況は、1,972 回となっており、「その他の訓練」（重機等による訓練、広報・住民避難・情報伝達訓練等）40%（784 回）、次いで「図上・座学訓練」27%（533 回）、「救出訓練」26%（520 回）となっている。また、他の消防本部の訓練や外部機関による訓練に参加している消防本部もある。



・訓練別実施状況

○図上・座学訓練

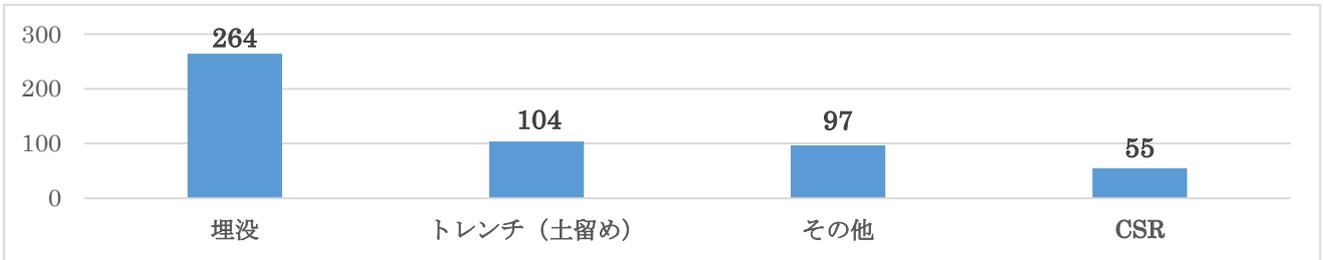
図上・座学訓練は、533回となっており、「安全管理・活動要領」408回、「重機」45回、「トレンチ（土留め）」41回、「埋没」30回、「CSR」9回、となっている。



※ CSR：Confined Space Rescue 狭隘空間における救助活動

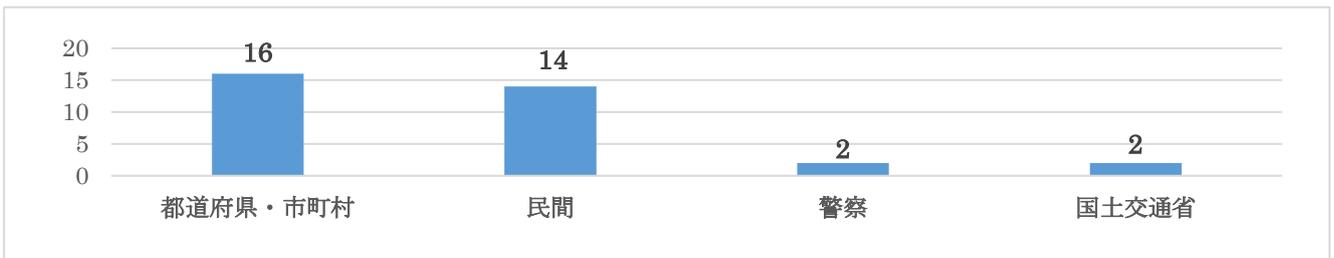
○救出訓練

救出訓練は、520回となっており、「埋没」264回、「トレンチ（土留め）」104回、「その他」97回、「CSR」55回、となっている。



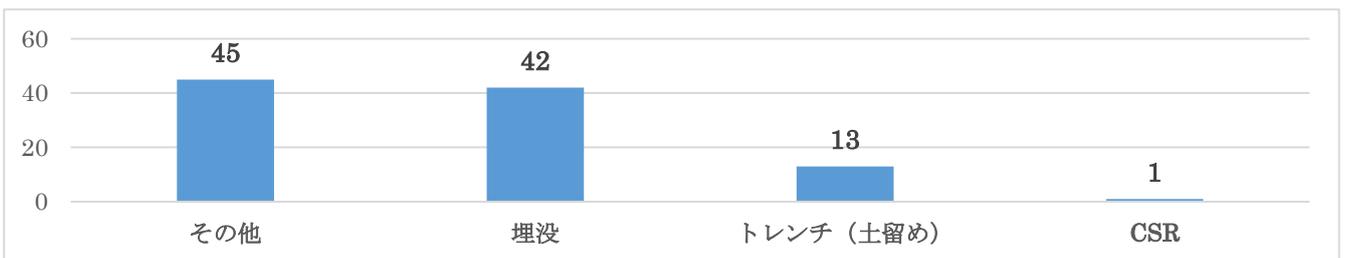
○外部機関による訓練

外部機関による訓練は、34回となっており、「都道府県・市町村」16回、「民間」14回、「警察」2回、「国土交通省」2回となっている。



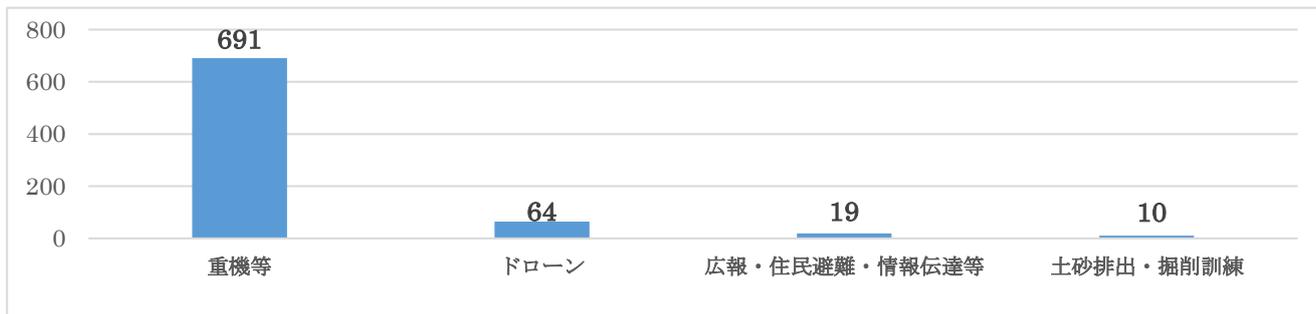
○他消防本部の訓練に参加

他消防本部の訓練に参加は、101回となっており「その他」45回、「埋没」42回、「トレンチ（土留め）」13回、「CSR」1回となっている。



○その他の訓練

その他の訓練は、784回となっており、「重機等」691回、「ドローン」64回、「広報・住民避難・情報伝達等」19回、「土砂排出・掘削訓練」10回となっている。



【土砂災害用訓練施設について】

土砂災害用訓練施設は、「消防学校施設利用」36本部、「市・消防本部で保有」29本部、「民間施設利用」20本部となっている。

